

イノベーション管理過程のモデル分析

筑波大学大学院 システム情報工学研究科 経営・政策科学専攻
学位論文審査委員会提出 修士（ビジネス）論文

平成19年1月26日

学籍番号 200520891

氏名 田中 克憲

論文指導教員

住田 潮 教授

Analysis of Innovation Management Process via Decision Tree Approach

要旨

近年、イノベーションの必要性を耳にすることが多くなった。しかし、イノベーションというものが一体何で、どのようにすればイノベーションを手にすることができるのかが語られることは多くない。

本論文では、まず企業経営の観点からイノベーションの定義を行った。そして、その定義を満たすイノベーション事象をケーススタディにて追従体験することによってイノベーションに対する具体的な知見を広め、企業が自社資源をイノベーションへと創出するイノベーションの管理過程を一般化し、モデル化を行った。このモデルより企業がイノベーション創出のために有用な意思決定支援フレームワークを構築した。

目次

第1章 序論	1
第2章 イノベーションの分析	3
2.1 イノベーションの先行研究と定義	3
2.1.1 イノベーションとは何か	3
2.1.2 イノベーションの発生のメカニズム	6
2.2 イノベーション ケーススタディ	9
2.2.1 事例 Felica : 技術と市場の相互作用	9
2.2.2 事例 プラズマディスプレイ (PDP)	13
2.2.3 事例 Microsoft Windows : イノベーションの収益化	17
2.3 イノベーションの分析 まとめ	20
第3章 イノベーション管理過程のモデル分析	21
3.1 はじめに	21
3.2 モデル化	21
3.2.1 イノベーションまでの意思決定	22
3.2.2 モデル概要	24
3.2.3 感度分析	32
3.3 考察	33
第4章 結論	35
参考文献	36
謝辞	37